



令和7年度 学校評価について

令和7年11月から12月にかけて、今年度の学校評価に関するアンケートを実施しました。その結果をもとに「豊里学園コミュニティ・スクール協議会」において熟議し、委員の皆様から多くのご意見をいただきました。アンケートにおいて、「ふつう」以上の回答を前向きな評価と捉えて集計いたしました。各項目の詳細な分析と今後の課題についてご報告いたします。今年度の成果と課題をもとに、さらに子どもたちが輝きながら安心して学ぶ学校づくりを推進してまいります。今後とも本校学校教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。



【学校評価アンケートより】～各項目の分析結果～

・学習・ICT活用に関する項目

- 考えをまとめる力では、各教科で学んだことを生かし、自分の考えをまとめている生徒は91.7%に達しています。一方で、保護者の皆様の肯定率は79.2%となっており、学校での成果をより家庭へ伝えていく必要があります。
- ICTを活用した表現では、ICT機器(パソコン)を活用して資料をまとめたり発表を工夫したりしている生徒は86.7%と、デジタルスキルの定着が見られます。
- ICTによる分かりやすい授業では、授業でのICT活用については、生徒の94.5%、保護者の87.4%、教職員の100%が肯定的であり、非常に高い評価を得ています。

・生活面・自己成長に関する項目

- 主体的な取り組みとやり遂げる力では、課題解決に自分から取り組む生徒は90.2%、自分で決めたことをやり遂げる生徒は92.5%と、強い意志を持って生活しています。
- 話し合いと協力では、学級での話し合いを努力に繋げている生徒は89.2%、互いの意見を生かして解決方法を決めている生徒は87.5%に上ります。
- 将来の夢と目標では、83.9%の生徒が夢や目標を持っており、特に「とてもそう思う」が47.5%と半数近くに達している点は本校の大きな強みです。

・学校の指導・環境に関する項目

- 少人数・個別指導では、分かりやすい授業への取組に対し、生徒の86.9%、保護者の81.8%が肯定的です。
- いじめ防止と相談体制では、相談しやすい雰囲気づくりについて、生徒の85.0%、保護者の85.7%、教職員の100%が肯定的な認識を持っており、安心・安全な環境が概ね構築されています。

【課題・次年度に向けて】

高い評価が見られる一方で、以下の点が今後の重点的な改善課題となりました。

○「挑戦する心」の育成

「難しいことでも失敗を恐れず挑戦している」という項目は、生徒の肯定率が77.3%と他項目に比べて低く、教職員の肯定率も65.5%に留まっています。生徒が自信をもって挑戦できるように、スモールステップを設定した取り組みや道徳において生徒の内面の支援を計画し実践していく活動を行っていききたいと思っております。

○学習状況の共有の強化

生徒が「自分の考えをまとめている」と実感している(91.7%)一方で、保護者の肯定率は79.2%です。学校での学びの様子を授業参観や学校だよりや学年だより等でお知らせしながら、より学校と家庭で共通理解を行っていききたいと思っております。

○わかりやすい授業の拡充

生徒は「学校は、わかりやすい授業をしている」86.9%、「学校は、学びたくなる楽しい授業をしている」88.1%の生徒が実感しています。生徒の実態分析を再度行い、わかりやすい授業を一層心がけていくことが大切と考えます。生徒がワクワクする授業を拡充展開していけるように、校内授業研究を今後も進めてまいります。

生徒会による中学校説明会



2月27日に小学校6年生対象の中学校説明会を学園内3小学校オンラインで繋ぎ実施しました。

生徒会役員がこれまでに準備した資料をもとに、4月からの中学校生活に対する不安が少しでも少なくなるように意識しながら説明を行いました。令和8年の生徒会役員の初活動！誰もが積極的に取り組んでいます。今後のさらなる活躍に期待しています。

第9学年集会

2月25日には、県立高等学校学力検査に向けた学年集会が行われました。これまで生徒たちは自分の進路実現に向けて、体調を整え、毎日の学びを一つずつ積み上げてきました。9年生一人ひとりの『成果』が発揮できることを、強く強く願っています。

ガンバレ！豊中生！！

